

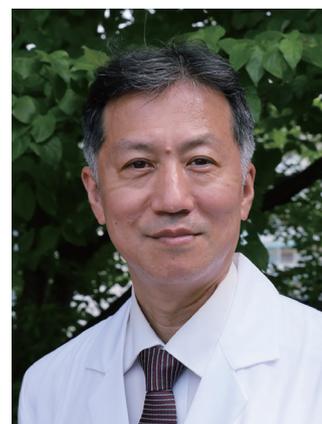
診療科トピックス

1

低侵襲心臓手術MICSで 患者さんの負担を軽減

東海大学医学部附属八王子病院
心臓血管外科教授

西 宏之



大阪大学卒。東海大学医学部医学
科外科学系心臓血管外科学領域教
授。博士(医学)。独立行政法人
国立病院機構大阪医療センター心
臓血管外科科長などを経て、2025
年4月より現職。専門は、心臓血管
外科学、胸部外科学。日本低侵襲
心臓手術学会(J・MICS)指導医

術後の傷跡が小さく 予後の負担低減が望める術式

当院の心臓血管外科では、虚血性
心疾患、心臓弁膜症、胸部・腹部大
動脈瘤、不整脈、下肢動脈・静脈疾
患に至る心臓・血管疾患の幅広い診
療を行っています。

心臓大血管の手術では、胸の中心
部を25cmほど切開したうえで胸骨を
左右に分割して心臓にアクセスする胸
骨正中切開が一般的です。

この術式は、心臓全体を目視で確
認しながら安全に手術を進められる
利点がある一方、術後傷口が治癒す
るまでに時間がかかり、2~3カ月間
は車の運転や重いものの運搬が制限
されるなど、社会復帰に時間もかかり
ます。また、糖尿病などを合併して
いる場合には、感染症のリスクが高まる
というデメリットもありました。また大き
な傷が残るため、美容的な側面から
手術を敬遠される方もおられます。

2010年頃から日本でも広まった
低侵襲心臓手術MICS (Minimally
Invasive Cardiac Surgery)は、側胸
部を小切開(傷口はおおむね5、6cm

ほど)し、専用の器具と内視鏡を用い
て治療する術式です。傷口が小さい
ため、美容的な観点、また社会復帰
にかかる時間の短縮などを実現でき
るメリットがあり、内視鏡で細かく患部
を視認しながら手術を行えます。

また術中の出血量も少なく、術後
の合併症リスクも低減できるのが特徴
です。ほとんどの場合、術後の運動
制限なども不要でスムーズに社会復
帰できるなど、開胸手術と比較して患
者さんの身体的な負担の軽減や社会
復帰の面でも大きなメリットがありま
す。

ただ術中、人工心肺で心臓を止め
ることに変わりはなく、身体への負担
を完全に取り除けるわけではありません。
それでもMICSは、これまでさまざま
な事情で手術を諦めていた患者さん
にとって、新たな選択肢となれる術
式であることは間違いありません。

心臓弁膜症手術への適応 冠動脈バイパス術などへの可能性

心臓弁膜症では主に僧帽弁、三
尖弁、大動脈弁の3つの弁の手術に

関してMICSが対応できます。これら
の手術では弁の状態に応じて、弁を
修復する「弁形成術」、弁を取り替える
「弁置換術」の2つの方法で治療す
ることが一般的です。

また心臓弁膜症以外にも、狭心症
などに対する冠動脈バイパス術にも
MICSで対応できることがあります。弁
膜症の場合には右側胸部を小切開
して手術を行います。冠動脈バイ
パス術では左側胸部から患部にアプ
ローチします。これは心臓表面の血管
が主に左側にあるため、血管吻合が
行いやすいためです。

弁膜症(僧帽弁)手術の際、不整脈
を併発している場合には不整脈手術
(アブレーション)を同時に行える場
合もあります。内視鏡を使うことで肉
眼より細かく患部を観察できるため、
内科のカテーテルアブレーションで到

達が難しい場所のアブレーションも可能です。

さまざまなメリットのあるMICSですが、安全と確実性を担保するためには執刀医に高い技術と経験が求められます。また患者さんの状態を正確に把握し、MICSと胸骨正中切開、カテーテル治療、内科的な治療のどれが適しているかを的確に診断することも重要です。実際、弁膜症手術で胸骨正中切開が基本として行われているのは、患者さんの条件によってMICSが使えない場合があるためです。そのため当院では、関連する各診療科と連携し、患者さんとしっかりコミュニケーションを取りながら、ご本人の価値観や希望も踏まえたうえでよりよい術式を選択するようにしています。

早期発見が大事な心臓弁膜症 自覚症状が確認できたら 大学病院へ

超高齢社会の今、心臓弁膜症は患者さんが特に増えている疾患のひとつです。自覚症状は主に息切れや倦怠感ですが、高齢の方の場合、自

覚症状があっても加齢による体力低下などによるものであると患者さん自身で判断してしまいがちです。そのため病院を受診した時には重症化してしまっている事例が後を絶ちません。

早期に病状を確認できれば、治療の選択肢が増えます。疾患を持つすべての患者さんがすぐ手術しなければならないわけではありませんが、心臓に関する疾患は自然治癒することが難しく、放置すればするほど確実に病状が進行してしまう傾向にあります。重症化する前に早期発見し治療することが、命を救う鍵となるのです。

心臓疾患の早期発見、治療に繋げるためには、地域医療を担う診療所の先生方の協力が必要になります。患者さんを診察された際、心雑音を認めた場合には、すぐに当院で精密検査を受けるよう、ご紹介いただけ

ば幸いです。

八王子市内では以前は、MICS手術の執刀可能施設がなかったため、希望される方は都心部までいかなければなりませんでした。今回わたくしが赴任したことで、当院でもこの術式を提供できるようになりました。全国でもMICSができる医師はまだ限られていますが、日本低侵襲心臓手術学会にて認定医制度や指導医制度の導入が行われ、今や約30人の指導医(私を含む)と100人ほどの認定医を認定するに至っています。

MICSに対応できる医師を増やすため、当院での人材育成にも力を入れていきたいと考えています。地域の先生方とも綿密に連携し、地域の皆さまにとってMICSがより身近な選択肢となるよう尽力してまいります。



冠動脈疾患 (左)

僧帽弁・大動脈弁疾患 (右)

正中切開

診療科トピックス

2

断らない、諦めない！ 地域の救急医療の拠り所に

東海大学医学部附属八王子病院副院長
救急センター長

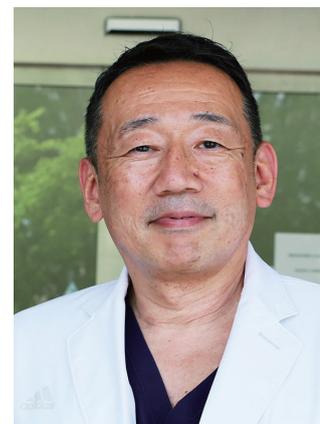
中川儀英

精鋭メンバーで 救急医療のニーズに応える

当院の救急センターは、開院当初より二次救急医療施設として地域の救急医療体制の充実に努めてまいり

ました。

そして今年度、私がセンター長に就任したことにあわせて、当センターのメンバーも大きく入れ替わり、5人の精鋭メンバーでの新体制となりました。



東海大学卒。医学部医学科総合診療学系救命救急医学領域教授。博士(医学)。東海大学医学部附属病院救命救急科診療科長、高度救命救急センター所長などを経て2025年4月より現職。専門は救急医学・蘇生学。

私自身は、東海大学医学部付属病院に救命救急センター開設(1984年)の3年後、1987年より、救急医療ひと筋に取り組んでまいりました。我々救急医療というゼネラリストと、各診療科のスペシャリストが互いに協力し合い、一人ひとりの患者さんに真摯に向き合いながら、地域の救急医療を支える体制を作りたいと考えております。

当センターに救急搬送される患者さんは、八王子市内在住の方が中心ではありますが、適切な医療機関が見つからない場合や、近隣で受け入れ可能な病院がない場合には、東京都心や山梨などからも受け入れています。患者さんの病状も実にさまざまです。当センターは急性循環器疾患に対応する医療ネットワークである、東京都CCUネットワークと東京都脳卒中急性期医療機関に参画しているため、心疾患や脳血管疾患などの急性期疾患に加え、高齢者の感染症、転倒による外傷といった一次救急から、意識障害やショックを呈する代謝障害、交通外傷、薬物中毒など三次救急に準ずる重篤なケースまで幅広い救急対応をおこなっております。

変化する時代にも対応し 後進の育成にも力を尽くす

私はこれまで、「患者さんをお断りしない」という方針を大切にまいりました。満床などやむを得ない事情がない限り、今後も救急搬送や、救急外来を受診される患者さんの受け入れに努めてまいります。これは、各診療科に高度な専門知識を有する医療従事者が常駐する当院だからこそできることであり、私たちが果たすべき責務であると考えております。

働き方改革の進展により、かつてのように各診療科による24時間体制の維持が困難となる中、当院では、内科・外科のチームによる当直体制を整備し、必要な時に必要な医療を提



▲多職種連携が支える迅速な救急対応
▶救急センターのスタッフ



供できる体制の維持に努めています。

一方で、大学付属の病院である以上、教育も重要な使命の一つです。当センターは2022年1月より指導医指定施設にも認定されており、後進の育成にも力を入れています。人材育成は地域医療の質の向上につながるのと同時に、指導にあたる医師自身にとっても知識や経験を見つめなおすことで、さらなる意識や技術力、連携力の向上が期待できると考えています。高い臨床判断力・医学的知見・豊かな人格を備えることで、救急の現場でも患者さんやご家族との円滑なコミュニケーションが可能になります。近年は、患者さんやご家族と治療方針を共に決定する「シェアード・デシジョン・メイキング」の重要性が高まっておりますが、私は患者さんの人生を尊重しながら寄り添える医師を一人でも多く育てていきたいと考えています。

地域の医療従事者と連携し 安心して暮らせる環境を

救急医療においては、患者さんの症状の経過に応じた回復期医療機関へのご紹介など、地域の医療機関との連携が大変重要です。当院では今後も、専門性を生かした役割分担のもと、地域全体で患者さんの診療に取り組む体制づくりを進めてまいります。地域の先生方と「顔の見える関係」を築き、円滑な連携を通じて、より多くの患者さんの早期回復と救命につなげたいと考えております。また、救急隊員の皆さまとの信頼関

係についても同様です。今後は、交流を兼ねた研修会なども企画したいと考えておりますので、ぜひご参加ください。

八王子市では全国平均を上回るスピードで高齢化が進み、65歳以上の独居高齢者も多く、救急搬送件数は年々増加傾向にあります。一方で、本来救急要請が必要な場面でも、躊躇してしまう方が少なくありません。その背景には、救急車を呼ぶ適切なタイミングについて学ぶ機会が少ない現状があると感じています。私は、「不安を感じた時点で、迷わず救急車を呼んでいただきたい」と考えており、その前提で普及活動を行う必要があると思っています。当センターとしても折に触れて情報発信したいと考えておりますが、日ごろから患者さんと接しておられる先生方にも、ぜひこの考えをお伝えいただけますと幸いです。

今後予防医学が進化し、救急搬送される方が減少したとしても、その数がゼロになることは決してありません。だからこそ、24時間365日稼働する救急センターは、これからも地域にとって欠かせない存在であり続けると考えています。「いざ」というときに頼れる病院があるという安心感を市民の皆さまに提供するためにも、地域の医療機関の先生方とこれまで以上に協力しながら、最適な医療を提供できる体制づくりに取り組んでいきたいと考えております。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

Information

2025年度 がん診療研修会(医療従事者向け)

日時：7月26日(土) 15:00~17:15

会場：東海大学医学部附属八王子病院 TOKAIホール 及び WEB ※ハイブリッド開催

対象：医師、看護師、医療技術者、医療ソーシャルワーカー、その他医療機関職員

後援：一般社団法人八王子市医師会

テーマ：

■大腸癌の手術／岡田 和文(東海大学医学部附属八王子病院 消化器外科 准教授)

■免疫チェックポイント阻害剤と注意点／秋元 知也(東海大学医学部附属八王子病院薬剤部 がん薬物療法認定薬剤師)

■がん化学療法の最近の動向～日常生活との両立のために～／石田 智子(東海大学医学部附属八王子病院看護部 がん化学療法看護認定看護師)

■スピリチュアルケアとは／玉置 妙憂氏(医療法人社団永生会 みなみ野病院 看護師・僧侶)

■放射線治療における医学物理士の役割／二上 菜津実(東海大学医学部附属八王子病院放射線治療科 医学物理士)

お申し込み方法：参加を希望される方は、7月25日(金)までにMicrosoft Forms(右の二次元コード)にてお申し込みください。会場参加またはWEB参加のどちらかをお選びいただけます。

お問い合わせ先：東海大学附属八王子病院事務部事務課



医療連携の会

日時：9月22日(月) 19:30~21:30

会場：京王プラザホテル八王子

プログラム：未定

対象：当院連携医療機関 等

お申込み：招待状(7月末発送予定)に同封します参加申し込みハガキをお送りください。

お問い合わせ：東海大学医学部附属八王子病院事務部事務課



昨年度の医療連携の会の様子

患者さんのご紹介について

外来受付時間のご案内 ※予約の方・緊急の方を除く

受付時間……………8:00~11:00 (診療開始は8:30)

受付時間に来院された紹介状をお持ちの初診患者さんは、ご予約の有無にかかわらず診察いたします(一部の診療料を除く)。



■ご紹介にあたってのお願い

紹介状を作成いただき、当日お持ちいただくようご案内ください。事前予約による診察も行っておりますので、ぜひご利用ください。紹介状をお持ちの場合には、WEBまたは代表番号より患者さんご自身による事前予約も受け付けております。ご紹介の患者さんにもご案内いただければ幸いです。

【医療機関からのご予約】

医療機関専用ダイヤル

042-639-1114

平日8:30~16:30

第2、4、5土曜日 8:30~14:30

医療機関専用ファックス 042-639-1115 (24時間対応)

*受付時間以降の受信は、翌日対応となります。

Web予約

医療機関からのWeb予約は下記二次元コードより事前申し込みの上ご利用ください。

【やくばと病診連携お申し込みフォーム】

<https://media.yakubato.jp/form-for-mailing-flyer>



【患者さんからのご予約】

病院代表番号

0570-000-802

平日8:30~16:30

第2、4、5土曜日 8:30~14:30

Web予約 (Webでの予約変更はできません)

(血液腫瘍内科、腎内分泌代謝内科(腎・透析内科)、精神科、リハビリテーション科、産科を除く)

【やくばと病院予約】

[https://patient.yakubato.jp/initial_appointments/fuzoku-](https://patient.yakubato.jp/initial_appointments/fuzoku-hosp-tokai-hachioji)

[hosp-tokai-hachioji](https://patient.yakubato.jp/initial_appointments/fuzoku-hosp-tokai-hachioji)

